

26s IT技術者のためのコミュニケーション ～「論理的」で「伝わる」意思疎通の技法～

1. 研修要領

・募集定員	16名
・研修会場	NISA研修室
・講師	福岡ソフトウェアセンター(FSC) 山崎 有生氏
・開催月日	H31年01月16日(水)・17日(木)・18日(金)
・実施時間・日数	9:30 ~ 17:30 (7時間/日)・3日間(21時間)
・受講料(税別)	78,800円
・教材料(税別)	5,000円

2. 対象者

IT業界にお勤めで、業務上意思疎通の力を必要としている方。

3. カリキュラムの概要

IT人材に必要不可欠な論理的に考えるスキル、口頭表現のスキル、文章作成のスキル等を理論と実践を通じて身につけます。
ドキュメンテーションコンテスト、プレゼンコンテスト、対人モードの判定演習等により参加者の方々と交流でき、楽しく身に付けることができます。
講師、他者、ビデオ等様々なフィードバックにより自己のコミュニケーションの特性が把握でき、受講者が強みを生かし、弱みを意味のないものにする方策を自ら見いだしていける内容です。

4. カリキュラムの詳細

3日間(21時間)

※改善のためカリキュラムは予告なく変更させていただくことがあります。

科目	時間	科目の内容
1.ロジカルコミュニケーション	3.0	・ITスキル標準におけるコミュニケーションの位置づけ ・コミュニケーションとは ・なぜ、コミュニケーションが重要か？ ・論理性とコミュニケーション 1. ロジカルコミュニケーション (1) 論理とは (2) 論理の基本形 【講義】
2.誰でもできる、ロジカルシンキング	1.0	(1)ロジカルの4ステップ (2)個人ワーク (3)G内発表とフィードバック 【講義・演習】
3.より強固なロジカルシンキング	2.0	(1)why so? So What? (2)MECE (3)ストーリー性 【講義・演習】
4.ドキュメンテーション①	1.0	(1)文章表現のコツ7則 (2)各自の課題で文書作成実習 【講義・演習】
5.ドキュメンテーション②	2.0	(1)レポート作成コンテスト ・個別発表 ・受講者からのフィードバック ・講師コメント 【演習】

6.プレゼンテーション	1.0	(1)なぜ、プレゼンが必要か？ (2)プレゼンテーションの3Cとは？
7.事前準備	1.0	(1)プレゼンで最も重要なこと
8.内容構成	1.0	(1)プレゼンの4つのステップ
9.視覚効果物	1.0	(1)図解化のコツ (2)グラフ化のコツ
10.コミュニケーション	1.0	(1)質疑応答のコツ (2)聴衆を巻き込むには？ (3)ボディランゲージのコツ 【講義・演習】
11. 実践、プレゼンテーション企画	3.0	・実際の仕事を題材にして、プレゼンテーションプランを練る ・ドキュメント作成・個人作業 ・講師からの個別指導 ・リハーサルと相互フィードバック 【演習】
12.プレゼンテーションの実践	2.0	個別発表 -VTRに収録 ビデオ・フィードバック 受講者からのフィードバック 講師コメント 【演習】
13.対人モード別コミュニケーション	2.0	(1)自己モード理解演習 (2)モード別コミュニケーション ・実習・解説 【講義・演習】
計	21.0Hr	

5. 使用教材

オリジナルテキスト

6. 到達目標

- ・論理的に考えることができる。
- ・わかり易い文章をA4一枚程度のものなら1時間以内に一人で作成できる。
- ・20人未満を対象にしたプレゼンテーションが一人で完遂できる。